

上和田有機米生産組合だより



10月号

先月は残暑が厳しく天気も良かったのですが、今月に入りいよいよ稲刈りとなると雨が降り、天気を気にしながら作業をしています。台風の影響がなく良かったです。今年高温が続きましたが、収穫量は平年並みで、当組合の基準である1.9mmの網から落ちる米も少なく 充実致しました。



皆川博之さん：枝豆の収穫選別作業



渡部京一さん：ぶとう園のハウスのビニール回収作業

「立教大学夏季フィールドワーク農業体験in高島町」5泊6日で立教大学の学生さんが今年もやってきました。

組合員の農作業の手伝いをして頂きました。連日猛暑で汗をかきハードな農業体験となりました。農業の大変さや食の大切さがわかり、都会ではみられない夜空の星、緑の草に黄金色の稲穂、鳥の鳴き声、全てに感動してくれました。そして組合員との交流会で人の温かさや優しさを知って良かったと言ってくれました。

毎年感じることは、この農業体験に希望し参加してくる学生さんは、礼儀正しくまじめで一生懸命で驚きます。将来が楽しみな子ばかりです。

「農業体験を終え、東京駅に着き帰宅するため電車に乗り、疲れて舟を漕ぐサラリーマン、夜仕事に向かう厚化粧の女性、周りを気にせず足を大きく広げて座席に座る女子高校生、全く文化の違う国にきたかのような違和感に襲われました。現実にもどりました。」新幹線で2時間いつでも来てください。

皆川博之さんの長男直之さんです。東京農大を卒業後、地元就職、結婚と同時に専業農家としてがんばっています。

◆コメント：組合では教宣部に所属しており、大学生の受入れや学習会（生き物調査）の開催、地元ゆうきの里まつりでの農産物の販売などの活動を行っております。

組合にも同世代の後継者がどんどん増えており共に組合を盛り上げていきたいと思っております。

有機米の他にも野菜作りを勉強中で、玉ねぎや枝豆にチャレンジして3年目になりました。昨年からは雑穀の「たかきび」の栽培にも力を入れています。



ななえ

妻・長女（七彩）8ヶ月
父・母・弟6人家族です。

主な栽培品目は上和田有機米、かぼちゃ、ビールの原料になるホップ、枝豆、たまねぎ、たかきびなどです。